

協会ニュース

令和 7 年 9 月 10 日

中国地区品質経営協会

広島市西区横川町 3 丁目 5 番 9 号（世良ビル 404 号）

TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845

e-mail qmac@a1.mbn.or.jp URL <http://qmac.jp/>

令和 7 年度 第 1 回シンポジウム「市場創造と技術革新」

- ◆ 開催日時 : 令和 7 年 7 月 28 日 (月) 13:20 ~ 16:20
- ◆ 場 所 : 広島商工会議所ビル 101 会議室 (Web 配信も同時実施)
- ◆ 参 加 者 : 35 企業・団体 373 名

令和 7 年度第 1 回目のシンポジウム「市場創造と技術革新」は、『生成 AI を活用した新たな取り組み』をテーマとし、当協会会員である日本規格協会様のご協力により開催しました。

昨年度のシンポジウムでは、人工知能の最新技術動向や AI を活用した事例を中心のご紹介頂く形でのシンポジウムを実施いたしましたが、益々生成 AI の活用範囲が広がり、実運用の段階に入ってきております。

今回のシンポジウムでは、生成 AI の新たな取り組みについて生成 AI の実演を交えた講演とパネルディスカッションを実施し、経営への活用や人の役割についても学ぶ場となりました。

第一部の講演では、株式会社日立製作所 フェロー 兼 株式会社ハピネスプラネット 代表取締役 CEO 矢野 和男様に『人は AI と共に進化する 企業は今、変わらなければならない』と題し、既存業務に生成 AI を活用するだけでなく、企業の組織や仕事のやり方をゼロリセットし、生成 AI を前提した考え方が必要である事をご説明頂きました。具体的な活用方法として、経営者の Bunshin を作り、生成 AI 上での経営会議の実演もご披露いただき、AI 中心のあるべき姿を実感できた講演となりました。

第二部では、当協会の運営委員長である広島工業大学 学長 長坂 康史先生のコーディネートによるパネルディスカッションを行いました。参加者からの事前に頂いた質問に加え、会場参加者からの質問に講演者から回答する形で実施し、実演を交えたご説明により、講演内容が深掘りされ、参加者の理解もより深まったのではないかと思います。

当日は、会場および Web を合わせて 373 名の方に参加いただきました。アンケート結果では、「生成 AI の可能性について参考になった」、「人間も一緒になって変わっていかないといけないと改めて感じた」等、生成 AI の活用に前向きな感想が多く寄せられており、大変有意義なシンポジウムとなりました。



株式会社日立製作所
矢野様



パネルディスカッションの様子
(左から、コーディネーターの長坂先生、矢野様)